

Ⅲ 地域保健課の業務概要

地域保健課は、管内市町及び関係機関と連携を図りながら、住民の健康づくり及び効果的な保健福祉サービスの推進に努めている。

<地域保健に関すること>

1 保健師関係指導事業

保健師は地域保健課・健康生活支援課に配置され、家庭訪問等個別指導を実施するとともに、所内及び市町の保健師活動の窓口として調整・支援を行っている。管内保健師活動の把握と資質向上のため、研修会や会議等を開催した。

2 母子保健事業

管内の母子保健事業の推進と、適切かつ効果的なサービス提供を目的に、各市町、関係機関等と連携をとりながら、母子保健推進協議会、母子保健連絡会議、長期療養児支援、親と子の心の相談などを実施した。

3 成人・老人保健事業

管内の健康づくり推進員等を対象に、がん検診推進員育成講習会を実施し、生活習慣病予防の啓発普及に努めた。

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

生涯を通じて、住民一人ひとりが年代や性別、健康状態や生活習慣に応じた確に自己の健康管理ができるよう支援することを目的に、健康相談を行った。

5 総合的な自殺対策推進事業

平成28年4月自殺対策基本法の改正により、都道府県及び市町村は、地域自殺対策計画を策定している。当センターでも地域の実情に応じた対策を実施するための支援と、市町との連携を強化することで、自殺対策に理解のある地域づくりを推進している。

6 地域・職域連携推進事業

生活習慣病予防と健康寿命の延伸を図るために、地域保健と職域保健の関係者が連携し、地域の健康課題の解決に向けて、事業を展開している。

令和3年度から3年計画で、「働く世代からフレイル予防を意識した健康づくり」に取り組み、地域・職域連携推進協議会を1回、作業部会を1回開催した。また、フレイル予防調査、リーフレット配布、動画配信等でフレイル予防の啓発を行った。

7 栄養改善事業

生活習慣病予防と望ましい食生活の普及・定着を図るため、健康教育・栄養指導等を実施した。給食施設指導では、利用者の健康づくりを目的とした食事が提供されるよう各給食施設に対し巡回指導を実施した。

併せて適切な栄養管理が行えるよう啓発資料を配付し、栄養管理の向上に努めた。

8 歯科保健事業

県民の生涯を通じた切れ目のない歯・口腔の健康づくりの推進を図るため、80歳になっても20本以上の歯を保つことを目標とする8020（ハチマル・ニイマル）運動の普及啓発等を行った。

9 精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、申請・通報・届出等に係る法施行業務を実施した。
また、住民の心の健康の保持増進を図るため心の健康相談や訪問指導、精神障害者家族支援、依存症自助グループの支援を通じ、地域の自助グループの育成を図った。関係機関、関係職種との連携を深めるため各種会議等に参画した。

10 肝炎治療特別推進事業

平成24年4月に千葉県肝炎対策推進計画が策定され、平成27年より肝炎ウイルス検査実施後のウイルス性肝炎陽性者を、早期に治療につなげ重症化予防を図ることを目的として、千葉県ウイルス性肝炎患者等重症化予防推進事業が開始された。またB型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度より医療費助成制度が開始された。

11 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B型・C型肝炎に起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、治療効果、生命予後や生活の質を考慮し、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進することを目的に実施している。

12 難病対策事業

特定医療費（指定難病）支給認定申請事業においては、338疾病（令和3年11月1日現在）を対象に自己負担の軽減を図っている。

難病相談事業においては、患者・家族が抱える医療や療養生活上の問題等に対して、保健師・難病訪問相談員による訪問等を実施し、安定した療養生活の確保と難病患者及びその家族の生活の質の向上に努めた。

13 受動喫煙対策

改正健康増進法により、令和元年7月1日に子どもや患者等が主な利用者となる施設は原則敷地内禁煙となり、令和2年4月1日から多くの人が利用する全ての施設において原則屋内禁煙となった。施設からの問合せや県民からの苦情等に基づく助言・指導等を行うとともに、普及啓発に努めた。

14 市町支援

各市町が開催する健康づくり推進協議会や地区組織育成等は、新型コロナウイルス感染拡大防止措置に伴って書面開催によることもあったが、広域の見地から市町事業が円滑に推進できるよう支援を行った。

また、児童虐待への対応として市町が設置している要保護児童対策地域協議会の代表者会議や実務担当者会議、個別支援会議に母子保健を担う立場で参画した。

1 保健師関係指導事業

地域保健活動の推進のため、管内保健師や関係機関と連携を図り、研修会等を通して資質向上と連携強化を目指して現任教育に取り組んでいる。

(1) 管内概況

管内保健師の就業状況は表1-(1)のとおりである。近年は保健衛生部門だけでなく、他部門への配置が増えつつある。

表1-(1) 管内保健師就業状況(令和4年4月1日現在)

(単位:人)

区分 年度	総数	保健所	市 町 村			
			保健衛生	福祉	介護保険	その他
令和2年度	74	8	51	0	14	1
令和3年度	74	9	50	0	14	1
令和4年度	70	8	50	0	11	1
東 金 市	15	—	13	0	2	0
山 武 市	16	—	13	0	3	0
大網白里市	14	—	11	0	3	0
九十九里町	2	—	2	0	0	0
芝 山 町	5	—	3	0	2	0
横芝光町	10	—	8	0	1	1

(2) 保健所保健師活動

保健師は地域保健課と健康生活支援課に所属しており、家庭訪問、面接、電話やメールで保健指導を行っている。

表1 - (2) 家庭訪問等個別指導状況 (令和5年3月31日現在)

(単位：件)

区 分 種 別	家庭訪問		訪 問 以 外 の 保 健 指 導				個別の連携 ・連絡調整			
	実数	延数	面 接		電 話	メー ル				
			実数	延数	延数	延数	延数	延数 (再掲：会議)		
総 数	40	74	354	396	5,611	35	778			
感 染 症	1	1	0	0	4,548	0	403			
結 核	19	27	34	62	188	0	53			
精 神 障 害	1	8	0	0	8	0	2			
長 期 療 養 児	2	3	23	24	11	0	2			
難 病	17	35	277	290	145	35	248			
生 活 習 慣 病	0	0	0	0	0	0	0			
そ の 他 の 疾 病	0	0	0	0	0	0	0			
妊 産 婦	0	0	0	0]]]			
低出生体重児 (未熟児)	0	0	0	0				39	0	43
乳 幼 児	0	0	0	0						
そ の 他	0	0	20	20	672	0	27			
訪問延世帯数	37	71								

(3) 保健師関係研修(研究)会実施状況

ア 管内保健師業務連絡研究会

表1-(3)-ア 管内保健師業務連絡研究会実施状況

開催年月日	テーマ	主な内容	参加人員
令和4年 5月24日	令和4年度保健師活動計画・新型コロナウイルス感染症の対応	1 令和4年度管内保健師業務連絡研究会実施計画について 2 保健所及び管内市町の令和4年度保健師活動計画及び重点活動、質疑応答 3 新型コロナウイルス感染症の発生動向、対応状況、ワクチン接種、相談対応、保健事業実施時の感染対策等情報交換	32名
令和4年 8月31日	保健師記録の目的、客観的に書く記載のポイント、情報開示を学ぶ	1 講演「客観的な保健師記録の書き方」 講師：東京女子医科大学 看護学部 教授 清水 洋子 氏 2 演習グループワーク 「客観的な記録モデルを作成する」 3 発表・まとめ	21名
令和4年 11月2日	業務研究を通して活動を振り返る	1 講演「業務研究の意義とレポート作成のポイント」 講師：千葉県立保健医療大学健康科学部 講師 杉本 健太郎 氏 2 保健活動業務研究発表及び意見交換・助言(健康福祉センター2題、市町1題) 3 全体講評及び助言	21名

イ 所内保健師研究会

表1-(3)-イ 所内保健師・看護師研究会実施状況

開催年月日	主な内容	参加人員
令和4年 4月27日	・令和4年度保健師の現任教育について ・令和4年度保健活動・保健事業計画について ・保健活動業務研究・学会等について ・その他(学生実習・日月報・保健師会・看護協会)	10名
令和4年 6月17日	・事例検討「ALS患者への支援について」	8名
令和4年 7月15日	・保健活動業務研究について ・公衆衛生看護学会について ・災害時アクションカード(難病・小慢)の対応について	8名

	・その他（第2回管内保健師業務研究会について）	
令和4年 9月17日	事例検討「新型コロナウイルス感染症の高齢者施設対応について」	8名
令和4年 11月24日	・保健活動業務研究について ・公衆衛生看護学会について	8名
令和4年 12月16日	・事例検討「難病患者への支援について」 ・難病患者の記録の作成について	7名
① 令和5年 2月17日	・令和4年度「保健活動・保健事業」評価及び令和5年度「保健活動・保健事業」計画の方向性について ① 地域保健課業務について ② 健康生活支援課業務について	① 9名 ② 9名
② 令和5年 3月17日		

ウ 保健所保健師ブロック研修会

表1-(3)-ウ 保健所保健師ブロック研修会実施状況

開催年月日	主 な 内 容	参加 人員
—	開催なし（印旛保健所担当）	—

エ その他

表1-(3)-エ その他

開催年月日	主 な 内 容	参加 人員
令和4年 11月30日	「新任期保健師研修会」（山武・香取・海匝保健所合同） 令和4年度は海匝保健所が企画し開催 ・「実践力UP事例検討会」講義・グループ演習 ・情報交換	19名 (管内9名)

(4) 管内看護管理者研修会

表1-(4) 看護管理者研修状況

開催年月日	主 な 内 容	参加 人員
令和4年12月 5日	講演「困難を乗り越える組織を作るコミュニケーション」 講師：西武文理大学 看護学部 客員教授 北浦 暁子 氏	25名

2 母子保健事業

管内の母子保健事業の推進と適切かつ効果的なサービス提供を目的に、各市町、関係機関等と連携を図りながら母子保健推進協議会、母子保健連絡会議や長期療養児支援、親と子の心の相談などを実施した。

(1) 母子保健推進協議会

管内における母子保健施策の効果的な推進を図るため、管内市町や関係機関等と管内の母子保健の課題について協議する。

表 2 - (1) 母子保健推進協議会実施状況

開催年月日	委員数	主な協議内容
令和5年2月7日	18	<ul style="list-style-type: none"> 切れ目ない支援実施のための現在の支援体制について 今後の支援体制の構築に向けて

(2) 母子保健従事者研修会

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の実現に向け、市町保健師等、母子保健従事者が必要な知識を身に着けるための研修を実施し、資質の向上を図る。

表 2 - (2) 母子保健従事者研修会実施状況

開催年月日	参加者数・職種	内容
令和4年 8月29日	27名 市町保健師、小中高等学校養護教諭等	講演「摂食障害の治療と支援について」 講師：千葉県摂食障害支援拠点病院 国立国際医療研究センター国府台病院 心療内科 田村奈穂 医師 (※思春期保健研修会を兼ねる)
令和4年 12月27日	22名 市町保健師・助産師、小中高等学校養護教諭等	講演「妊産婦への効果的な禁煙指導、加熱式たばこを中心に、若い世代(中学生)への対応含む」 講師：一般社団法人日本禁煙学会 理事・総務委員長 宮崎恭一 氏

(3) 母子保健に関する連絡調整会議

管内産科医療機関と市町母子保健担当者との連携を図り、効果的な母子保健事業の推進を図ることを目的に会議を開催。

表 2 - (3) 母子保健に関する連絡調整会議実施状況

研修会の名称	開催年月日	参加者数・職種	内容
令和4年度 山武保健所管内母子保健連絡会議	令和4年 9月14日	14名 市町保健師、医療機関助産師・SW等	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での妊産婦支援について 母子保健の実施状況について 要支援妊産婦の支援について 妊産婦の「たばこ対策」について

(4) 人工妊娠中絶届出

母体保護法第25条により管内の医師から届出があった人工妊娠中絶実施報告書に基づく妊娠週数・年齢階級別届出状況である。

表2-(4) 人工妊娠中絶届出状況

(単位：人)

区分 妊娠週数	令和 2 年度	令和 3 年度	令和4年度									
			総 数	20 歳 未 満	20 歳 ～ 24	25 歳 ～ 29	30 歳 ～ 34	35 歳 ～ 39	40 歳 ～ 44	45 歳 ～ 49	50 歳 以 上	不 詳
総 数	23	7	6	0	3	0	3	0	0	0	0	0
満7週以前	10	4	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0
満8週～満11週	6	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0
満12週～満15週	4	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
満16週～満19週	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
満20週～満21週	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
不 詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(5) 特定不妊治療費助成事業

平成17年1月から保険適用外である体外受精及び顕微授精について、平成28年1月から男性不妊治療も対象に追加し、治療費用の一部を助成することで、不妊に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることを目的としている。令和2年1月から助成額が増額され、対象者の要件から所得制限の撤廃や出産による助成回数のリセット等制度が拡充された。

表2-(5) 特定不妊治療費助成実施状況

(単位：件)

年度・市町村	件 数		延件数内訳			
	実件数	延件数	体外受精	顕微授精	男性不妊	その他
令和2年度	70	111	25	36	1(0)	49
令和3年度	102	163	42	51	0(0)	70
令和4年度	31	31	1	17	0(0)	13
東金市	11	11	※男性不妊の件数は男性不妊治療単独の助成件数であり ()内の数値は、特定不妊治療を伴う男性不妊治療の 助成件数である。			
山武市	4	4				
大網白里市	11	11				
九十九里町	1	1				
芝山町	0	0				
横芝光町	4	4				

(6) 小児慢性特定疾病医療費助成制度事業

小児慢性特定疾病医療費助成制度は、慢性疾患により長期にわたり療養を必要とする児童等の健全な育成を図るため、16疾患群788疾病（令和3年11月1日現在）を対象に、その治療に対する研究等に資する医療の給付を実施する制度である。管内においては悪性新生物、内分泌疾患、慢性消化器疾患が多くみられている。

表2－(6) 小児慢性特定疾病医療費助成制度受給者状況（各年度3月31日現在）

(単位：件)

疾 患 名		令和2年度	令和3年度	令和4年度	東 金 市	山 武 市	大 網 白 里 市	九 十九 里 町	芝 山 町	横 芝 光 町
総 数		116	95	86	20	18	22	7	3	16
1	悪性新生物	17	13	13	3	0	5	1	1	3
2	慢性腎疾患	9	6	7	3	2	1	1	0	0
3	慢性呼吸器疾患	6	4	2	1	0	0	1	0	0
4	慢性心疾患	13	11	7	0	3	1	1	1	1
5	内分泌疾患	19	16	12	3	2	3	1	0	3
6	膠原病	7	6	8	1	2	1	0	0	4
7	糖尿病	5	5	5	1	3	0	0	0	1
8	先天性代謝異常	2	2	2	1	0	1	0	0	0
9	血液疾患	1	2	2	0	1	0	1	0	0
10	免疫疾患	4	2	2	1	0	1	0	0	0
11	神経・筋疾	6	4	4	0	1	1	0	0	2
12	慢性消化器疾患	17	16	15	5	2	5	0	1	2
13	染色体又は遺 伝子に変化を 伴う症候群	5	4	4	1	1	1	1	0	0
14	皮膚疾患	1	1	0	0	0	0	0	0	0
15	骨系統疾患	4	3	3	0	1	2	0	0	0
16	脈管系疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(7) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

児童福祉法第19条の22に基づき、慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立支援を図るため、小児慢性特定疾病児童等及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、関係機関との連絡調整等を行う。

ア 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業（研修会、講演会、交流会等）

表2-（7）-ア 小児慢性特定疾患児童等自立支援事業

名 称	実施年月日	参加人数・内訳	内 容
印旛山武地域難病相談支援センター講演会	令和4年 12月21日	30名 教育・福祉・保健・医療・行政等関係者	講演「“難病患者就職サポーター”に聞く 就労支援 自分らしく働こう」 講師：芦沢 久恵 氏 ※印旛山武地域難病相談支援センター主催 印旛保健所と共催 ※難病相談事業も兼ねている
小児慢性特定疾病児童等従事者研修会	令和5年 2月20日	当日11人 後日動画総視聴数 99回 教育・福祉・保健・医療・行政等関係者	講 演 長期療養児の就学支援 情報提供「山武保健所管内の小児慢性特定疾病児童の現状（保健所保健師）」 講演1「移行支援医療の総論について」 講師：東千葉メディカルセンター 小児科医 井上祐三朗 氏 講演2「千葉県移行期医療支援センターの紹介」 講師：同センター 医師 日野もえ子 氏 講演3「教育現場における長期療養児の就学支援について」 講師：千葉県立仁戸名特別支援学校 特別支援教育コーディネーター 小山かほり 氏

イ 療育相談指導事業（療育指導連絡票に基づくもの）

表2-（7）-イ 療育相談指導内容

（単位：人）

内 容	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相 談 者 数 （ 延 ）	0	4	0
家 庭 看 護 指 導	0	0	0
食 事 ・ 栄 養 指 導	0	0	0
歯 科 保 健 指 導	0	0	0
福 祉 制 度 の 紹 介	0	0	0
精 神 的 支 援	0	0	0
学 校 と の 連 絡	0	0	0
家 族 会 等 の 紹 介	0	0	0
そ の 他	0	4	0

ウ 訪問指導事業（訪問相談員派遣を含む）

表2-(7)-ウ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位:件)

疾 患 名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総 数	0	1	3
気 道 狭 窄	0	1	1
慢 性 肺 疾 患	0	0	0
13トリソミー症候群	0	0	2
ダ ウ ン 症 候 群	0	0	0
甲 状 腺 機 能 低 下 症	0	0	0

エ 窓口相談事業

表2-(7)-エ 相談内容 (単位:人)

内 容	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相 談 者 数 (延)	8	13	24
申 請 等	3	6	15
医 療	1	1	2
家 庭 看 護	2	2	6
福 祉 制 度	1	0	0
就 労	0	0	0
就 学	0	0	1
食 事 ・ 栄 養	0	0	0
歯 科	0	0	0
そ の 他	1	4	0

オ 訪問相談員派遣事業

表2-(7)-オ 訪問相談員派遣事業実施状況

区分 年度	人 数	回 数	実 人 員	延 人 員
令和2年度	0	0	0	0
令和3年度	0	0	0	0
令和4年度	0	0	0	0

(8) 療育の給付制度

療育医療（児童福祉法第21条の9）は、結核で長期療養を必要とする児童を指定医療機関に収容して医療給付を行う他、学用品や日用品給付を行う。令和4年度の申請はなし。

(9) 旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等について

旧優生保護法の下、特定の疾病や障害を有することを理由に優生手術や放射線の照射を受けることを強いられ、心身に多大な苦痛を受けた者に対し、一時金を支給する。

表2－(9) 管内居住者からの相談及び請求受付件数（センター受付分）

年度	請求受付件数	相談件数（延べ）		
		電話等相談	来所相談	計
平成2年度	0	0	0	0
令和3年度	0	0	0	0
令和4年度	0	0	0	0

※一時金の支給に関する相談及び請求は健康福祉部児童家庭課でも居住地に関わらず受付・相談窓口を開設している。

(10) その他の相談

ア 親と子の心の相談

産婦、幼児、児童等の心の問題に対して医師、臨床心理士等による相談、支援を実施した。

表2－(10) 親と子の心の相談実施状況（単位：件）

年度	区分	回数	相談数		延数に対する相談結果		
			実数	延数	相談終了	経過観察	他機関紹介
令和2年度		9	22	23	11	3	9
令和3年度		8	14	14	4	2	8
令和4年度		8	12	12	6	1	5

3 成人・老人保健事業

がん検診の受診率向上のため、各市町健康づくり推進員等を対象に講習会を開催した。

(1) がん検診推進員育成講習会

各市町の健康づくり推進員、保健推進員及び食生活改善推進員等（以下「推進員等」という。）に対し講習会を行い、がん検診推進員として育成し、これらの人材の協力を得て、各地域でがん検診の声かけ運動等を実施することにより、受診率の向上を図る。

表3－(1) がん検診推進員育成講習会

開催年月日	参加者数	内容
令和5年2月21日	19名	講演 「子宮頸がん と HPV ワクチン接種に関する最新の知識について」 講師 成田赤十字病院 婦人腫瘍科部長 海野 洋一 氏

※印旛保健所と隔年開催。令和4年度は、印旛保健所が担当。

4 一人ひとりに応じた健康支援事業

性差を踏まえた視点から、生涯を通じて的確に自己の健康管理ができるよう支援することを目的として、健康相談を実施している。

(1) 健康相談事業

身体面、精神的な悩みを有する思春期以降の全年齢層の男女を対象として、電話相談に応じる。

表4－(1) 健康相談実施状況（電話）

(単位：件)

年度 \ 区分	男	女	総数
令和2年度	14	13	27
令和3年度	4	3	7
令和4年度	7	9	16

5 総合的な自殺対策推進事業

管内の自殺者数は減少しているが、自殺死亡率は全国や千葉県と比較して高い状態が続いている。地域の実情に応じた対策を実施するための支援と、市町と連携対策を強化することで、自殺対策に理解のある地域づくりを推進している。

6 地域・職域連携推進事業

生涯を通じた継続的な保健サービスの提供体制を整備し、生活習慣病等の予防を図ることを目的として、地域保健・職域保健の関係者が情報を共有し、健康課題を抽出し、共同で保健事業を実施していくために、管内の関係機関の代表等を構成員とした山武地域・職域連携推進協議会を開催した。

地域の健康課題である「フレイル予防対策」に令和3年度から令和5年度までの3か年計画で取組んでおり、協議会を1回、作業部会を1回開催。実施計画や評価方法等について協議し、リーフレット配布・動画発信等でフレイル予防の啓発、フレイル予防調査等の共同事業を実施した。

表6－(1) 山武地域・職域連携推進協議会開催状況

開催年月日	参加数	主 な 内 容
令和5年 1月17日	27名	「働く世代からフレイル予防を意識した健康づくり」 1 令和3年度実績と令和4年度取組状況について 2 令和5年度計画について

表6－(2) 山武地域・職域連携推進協議会作業部会開催状況

開催年月日	参加数	主 な 内 容
令和4年 8月9日	14名	「フレイル予防対策」 1 令和3年度取組状況と令和4年度取組計画について 2 令和4年度共同事業について ① フレイルの健康への影響についての周知 ② フレイル予防対策の推進

表6－(3) 共同事業開催状況

開催年月日	主 な 内 容
1 啓発資料作成・配布 令和4年6月 ～令和5年3月	○「働き盛りの40歳代から始めるフレイル予防」 ・リーフレット 作成・配布 配布先：管内薬局・市町から地域住民へ配布、協議会員の会員等への配布・周知 ・動画作成 You Tube 公開 ○「お住まいの市町の健康に関するサービス一覧」 ・管内市町、協会けんぽ、JAの健診(検診)案内を作成 配布・ホームページ掲載 配布先：協議会員・医師会等関係団体、管内推進員へ配付・周知
2 フレイル予防調査の実施 令和4年11月 ～令和5年1月	フレイルの認知度やリスク把握を目的に実施し 11機関から 986名の回答が得られた。フレイルの認知度は低く、51%が言葉も意味も知らないことがわかった。

7 栄養改善事業

住民の健康の保持増進を図るため、栄養改善・健康づくりに関わる各種事業を実施した。

(1) 健康増進（栄養・運動等）事業

地域住民に対し、健康増進（栄養・運動等）指導を通じライフステージに応じた正しい生活習慣の普及啓発を図り、健康意識の向上に努めた。

表7－（1）健康増進（栄養・運動等）指導状況

（単位：人）

		個別指導延人員								集団指導延人員						
		栄養指導	(再掲) 病態別 栄養指導	(再掲) 訪問による栄養指導	運動指導	(再掲) 病態別 運動指導	休養指導	禁煙指導	その他	栄養指導	(再掲) 病態別 栄養指導	運動指導	(再掲) 病態別 運動指導	休養指導	禁煙指導	その他
実施数	妊産婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	乳幼児	—	—	—	△	△	△	△	—	345	345	△	△	△	△	—
	20歳未満 (妊産婦・乳児を除く)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20歳以上 (妊産婦を除く)	3	—	—	—	—	—	—	—	100	—	9	—	—	47	—
(再掲) 医療機関等へ委託	妊産婦	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	乳幼児	—	—	—	△	△	△	△	—	—	—	△	△	△	△	—
	20歳未満 (妊産婦・乳児を除く)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	20歳以上 (妊産婦を除く)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

ア 病態別個別指導

表 7 - (1) - ア 病態別個別指導状況 (単位：人)

種別 \ 区分	計	生活習慣病	難病	アレルギー疾患	摂食障害	その他
病態別栄養指導	—	—	—	—	—	—
病態別運動指導	—	—	—	—	—	—

※生活習慣病は、がん・高血圧・心臓病・高脂血症・糖尿病・肥満・貧血に関する指導をした場合に計上する。

イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

表 7 - (1) - イ 病態別栄養教室・講座等実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
令和 4 年度 小児食物アレルギー講演会	千葉県公式セキチャンネル (YouTube) (ライブ配信：令和 4 年 12 月 7 日) (オンデマンド配信：令和 4 年 12 月 21 日～令和 5 年 3 月 20 日)	食物アレルギー患者とその家族等	345 (延再生回数)	講演①「医師が伝える！ 食物アレルギーの基本の『キ』」 講師 国立病院機構下志津病院 医師 仲村あずさ 氏 講演②「食物アレルギーと 上手に付き合うために」 講師 国立病院機構下志津病院 看護師 柚木千明 氏 近藤圭佑 氏

ウ 地域における健康づくり推進事業

表 7 - (1) - ウ 地域における健康づくり推進事業実施状況

名称	開催年月日	対象者	参加数	内容
健康づくり 研修会	令和 4 年 10 月 27 日	管内食生活改善関係推進員等	31	講演「栄養成分表示を活用した減塩指導方法 実践編」 講師 Shoku-Story 管理栄養士 米倉 れい子 氏

エ 国民（県民）健康・栄養調査

表 7 - (1) - エ 国民（県民）健康・栄養調査状況

調査名	調査地区（対象）	調査年月日・調査内容等
国民健康・栄養調査	該当地区無し	—

オ 特別用途食品・食品に関する表示指導・普及啓発実施状況

表 7 - (1) - オ - (ア) 食品に関する表示相談・普及啓発実施状況

		業者への相談対応・普及啓発				
		相談（個別）		普及啓発（集団）		
		実相談食品数	延相談件数	回数	延対象者数	内容 （講習会等）
特別用途食品及び特定保健用食品について		—（—）	—（—）	—（—）	—（—）	—
食品表示基準に ついて （保健事項）	栄養成分	10	10	—	—	—
	特定保健用食品	—	—	—	—	—
	栄養機能食品	—	—	—	—	—
	機能性表示食品	—	—	—	—	—
	その他※	—	—	—	—	—
健康増進法第 65 条第 1 項（虚偽誇大広告）		—	—	—	—	—
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		—	—	—	—	—
		県民への相談対応・普及啓発				
		相談（個別）		普及啓発（集団）		
		延相談件数	回数	延対象者数	内容 （講習会等）	
特別用途食品及び特定保健用食品について		—（—）	—（—）	—（—）	—（—）	—
食品表示基準に ついて （保健事項）	栄養成分	—	3	56	調理師講習会、健康 づくり研修会等	
	特定保健用食品	—	—	—	—	
	栄養機能食品	—	—	—	—	
	機能性表示食品	—	—	—	—	
	その他※	—	—	—	—	
健康増進法第 65 条第 1 項（虚偽誇大広告）		—	—	—	—	
その他一般食品について（いわゆる健康食品を含む）		—	—	—	—	

（ ）内は、特定保健用食品再掲

※栄養成分以外の内容だった場合（特保、栄養機能食品、機能性表示食品は除く）

表7- (1) -オ- (イ) 食品表示等に関する指導状況 (表示違反への対応)

		指導状況 (個別)	
		実指導食品数	延指導件数
食品表示基準について (保健事項)	栄養成分※	1(-)	1(-)
	機能性表示食品	-	-
	その他	-	-
健康増進法第65条第1項 (虚偽誇大広告)		-	-
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		-	-

※ 栄養機能食品、特定保健用食品を含む () 内は、栄養機能食品、特定保健用食品再掲

表7- (1) -オ- (ウ) 特別用途食品に対する検査・指導件数 (単位: 件)

管内で製造される特別用途食品数	実検査食品数	延検査・指導食品数
- (-)	- (-)	- (-)

() 内は、特定保健用食品再掲

カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導

表7- (1) -カ 食生活に関する正しい知識の普及啓発指導状況

個 別		集団指導		
内容	延人員	内容	延回数	延参加者数
-	-	調理師講習会等	2	51

(2) 給食施設指導

管内の給食施設（121施設）に対し、個別指導及び集団指導を実施した。

個別指導（給食施設巡回指導）において、栄養士が配置されていない給食施設に対し特に栄養管理・衛生管理についての指導強化に努めた。

集団指導として、給食施設の管理者及び従事者を対象に栄養に関する最新情報を提供し、給食施設関係者の資質の向上に努めた。

給食施設状況

表 7 - (2) 給食施設状況

(単位：件)

施設 総数	管理栄養士の みいる 施設		管理栄養士 栄養士 どちらも いる施設			栄養士 のみ いる施 設		管理栄養士・栄養士 どちらも いない 施設	管理栄養士 必置指定 施設		調理師の いる施設		調理師の いない 施設	栄養成分 表示施設	栄養教育 実施施設
	施設 数	管理栄養士 数	施設 数	管理栄養士 数	栄養士 数	施設 数	栄養士 数		施設 数	管理栄養士 数	施設 数	調理師 数			
121	36	38	23	42	28	27	31	35	3	13	100	236	21	119	63

ア 給食施設指導状況

表 7 - (2) - ア 給食施設指導状況

(単位：件)

区 分			計	特定給食施設		その他の 給食施設
				1回300 食以上 又は 1日750 食以上	1回100 食以上 又は 1日250 食以上	
個別指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	40	21	12	7
		その他指導施設数	75	9	37	29
	喫食者への栄養・運動指導延人員		—	—	—	—
集団指導	給食管理指導	回数	/	4	4	4
		延施設数	309	46	202	61
	喫食者への 栄養運動指導	回数	—	—	—	—
		延人員	—	—	—	—

イ 給食施設個別巡回指導

表7-(2)-イ 給食施設個別巡回指導状況

	総施設数	総指導施設数	管理栄養士・栄養士配置状況								
			管理栄養士のみ いる施設		管理栄養士・栄養士 どちらもいる施設		栄養士のみ いる施設		どちらもいない 施設		
			施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	施設数	指導 施設数 (再掲)	
合計	121	39	36	14	23	7	27	5	35	13	
指定施設 ①	計	3	3	-	-	3	3	-	-	-	-
	学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	病院	3	3	-	-	3	3	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護医療院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
300食/回, 750食/日以上 (指定施設を除く) ②	計	18	18	12	12	1	1	3	3	2	2
	学校	17	17	11	11	1	1	3	3	2	2
	病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護医療院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	児童福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	社会福祉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	寄宿舎	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
100食/回, 250食/日以上 (①, ②除く)	計	77	12	17	2	16	3	21	1	23	6
	学校	15	-	5	-	-	-	9	-	1	-
	病院	5	5	2	2	3	3	-	-	-	-
	介護老人保健施設	6	-	-	-	5	-	1	-	-	-
	介護医療院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	16	1	7	-	8	-	1	1	-	-
	児童福祉施設	25	2	2	-	-	-	7	-	16	2
	社会福祉施設	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-
	事業所	6	4	-	-	-	-	-	-	6	4
	寄宿舎	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
その他の給食施設	計	23	6	7	-	3	-	3	1	10	5
	学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護老人保健施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	介護医療院	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	老人福祉施設	9	1	4	-	3	-	2	1	-	-
	児童福祉施設	7	4	1	-	-	-	-	-	6	4
	社会福祉施設	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-
	事業所	3	1	-	-	-	-	-	-	3	1
	寄宿舎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	矯正施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自衛隊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	一般給食センター	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	

※施設に出向き個別指導した施設数を記入する。

※管理栄養士・栄養士配置施設の記入については、「衛生行政報告例記入要領」を参照すること。

ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導

表7－（2）－ウ 給食施設開始届・廃止（休止）届・変更届指導（単位：件）

	給食施設開始（再開）	給食施設廃止（休止）	給食施設変更届
届出数	0	1	11
指導数	3	1	1

エ 給食施設集団指導

表7－（2）－エ 給食施設集団指導状況

名称	開催年月日	対象者	参加者数	内容
郵送による情報提供	令和4年 5月19日	給食施設 管理者及び 従事者	47施設	第4次千葉県食育推進計画について
給食施設衛生講習会	令和4年 7月14日		85施設 119人	講演 「給食施設の衛生管理について」 講師 長生健康福祉センター 食品機動監視課 説明 「給食施設の栄養管理 ～給食施設栄養管理状況報告書 結果について～」 説明者 山武健康福祉センター 地域保健課
郵送による情報提供	令和4年 7月		36施設	上記講習会欠席施設に資料を送付
給食施設研修会	令和4年 8月26日		20施設 20人	講演 「おやつを含めた栄養管理の 重要性について」 講師 東京聖栄大学健康栄養学部 管理栄養学科 教授 風見公子氏 説明 「第4次千葉県食育推進計画に ついて」 説明者 山武健康福祉センター 地域保健課
メールによる情報提供	令和4年 11月22日		121施設	ノロウイルスの感染症・食中毒予防対策 について

(3) 健康ちば協力店推進事業

表7-(3)-ア 健康ちば協力店登録状況

4年度登録件数			総登録件数
登録件数	変更件数	取消件数	
3	0	0	4

※令和2年度の登録要件改正により、令和3年9月30日をもって自動的に登録終了となった件数を含む。取消件数については、新・旧要件の合算数とする。

表7-(3)-イ 健康ちば協力店推進事業実施状況

区分	飲食店等に対する普及啓発及び指導状況		登録後の協力店に対する指導			県民に対する普及啓発及び指導状況	
	回数	延人員	回数	延店舗数	延人員	回数	延人員
個別指導	/	0	/	0	0	/	0
集団指導	3	105	0	0	0	6	140
合計	/	105	/	0	0	/	140

(4) 栄養関係団体等への育成・支援

表7-(4) 栄養関係団体等への育成・支援状況

組織状況及び活動状況			保健所による育成状況	
名称	会員数及び加入組織数	活動内容	育成内容	延育成人員
管内食生活改善協議会	147名	理事会・総会・研修会等	○理事会 令和4年4月5日、7月4日、10月11日、令和5年1月20日、3月15日 ○総会 令和4年5月23日 ○研修会 令和4年9月6日、10月27日、令和5年1月20日	27名 22名 61名
管内栄養士会	49名	理事会・総会・研修会等	○理事会 令和4年4月26日、8月30日、9月30日、令和5年2月24日 ○総会（書面） 令和4年6月 ○研修会 令和4年11月10日	24名 41名 22名
管内東金会 調理師 管内松尾会 調理師	/	研修会・健康ちば協力店登録推進	千葉県調理師講習会の講師や会の運営助言等	20名

(5) 市町への技術・助言支援等

表7-(5) 管内行政栄養士研究会等の開催状況

名 称	延回数	延参加人員	主な内容
管内行政栄養士 業務検討会	3	19名	<事業検討、情報交換等> ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について ・災害時栄養・食生活支援について（講話、ケースメソッド、アクションカード作成） ・成人保健事業について ・骨粗鬆症検診実施方法について

(6) 調理師試験及び免許関係

表7-(6) 調理師試験及び免許取扱状況

(単位：名)

年 度	調 理 師 試 験			免 許 交 付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
令和2年度	27	19	70.4	34	10	15
令和3年度	38	22	57.9	32	12	7
令和4年度	44	26	59.1	43	13	12

8 歯科保健事業

県民の生涯を通じた切れ目のない歯・口腔の健康づくりの推進を図るため、80歳になっても20本以上の歯を保つことを目標とする8020（ハチマル・ニイマル）運動の普及啓発等を行った。

(1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業

表8-(1) 難病及び障害者等歯科保健サービス事業実施状況

名 称	対象者	開催月日	内 容	参加人員
新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため未実施	—	—	—	—

9 精神保健福祉事業

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、保健所は精神保健福祉行政の第一線機関として位置付けられおり、法律に基づく入院事務等の業務と併せ精神保健福祉相談員や保健師等による相談及び訪問をベースに専門性や広域での連携や調整が必要な事項について市町村、医療機関、障害福祉サービス事業所等の地域の支援機関と連携を図り受療援助、精神障害者の社会復帰支援、普及啓発など地域精神保健福祉活動を実施した。

(1) 管内病院からの届出等の状況

表9－(1) 管内病院からの届出等の状況

(単位：件)

種別 年度	医療保護 入院届(家 族等の同 意)	応急入院 届	医療保護 入院届の 退院届	措置症状 消退届	措置入院 定期病状 報告書	医療保護 入院定期 病状報告	その他
令和2年度	429	1	438	31	6	189	2
令和3年度	454	1	457	20	4	186	1
令和4年度	456	0	461	16	6	173	2

※ その他は、転院許可申請(2)件、仮退院申請(0)件、再入院届(0)件の合計

(2) 措置入院関係

管内において精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第22条から第27条第2項までの措置事務、措置診察を行った対象者の病名、入院期間。申請、通報、届出に関する相談や臨場等を行った支援の実績、法第29条の2の2の移送業務。

表9－(2)－ア 申請・通報・届出及び移送処理状況

(単位：件)

処 理 申請通報等の別	申 請・ 通 報 届 出 件 数	診 療 の 必 要 が な い と 認 め た 者	法第27条の診察を 受けた者			法第29条の2の診察を 受けた者			法第29条の2の2の 移送業務		
			法第29 条該 当 症 状 の 者	そ 他 の 入 院 形 態	通 院・ そ 他	法第29 条の2 該 当 症 状 の 者	そ 他 の 入 院 形 態	通 院・ そ 他	1次 移 送	2次 移 送	3次 移 送
令和2年度	26	8	15	0	3	9	0	0	0	0	4
令和3年度	24	10	13	0	0	7	0	1	0	0	4
令和4年度	21	14	7	7	0	2	2	0	0	0	1
法第22条 一般人からの申請	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第23条 警察官からの通報	2	0	2	2	0	2	2	0	0	0	0
法第24条 検察官からの通報	15	10	5	5	0	0	0	0	0	0	0
法第25条 保護観察所の長からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条 矯正施設の長からの通報	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の2 精神科病院管理者からの届出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第26条の3 医療観察法に基づく指定医療 機関管理者及び保護観察所長 からの通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法第27条第2項 申請通報に基づかない診察	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※1 「申請・通報・届出件数」は受理日で集計

2 「法第29条の2該当症状の者」は、原則として法第27条の診察を受けた者の内数

3 1次・2次移送は、診察までの移送、3次は措置決定後の病院までの移送

表9－（2）－イ 措置診察を受けた対象者の病名

(単位：件)

年 度 結 果	病 名	総 数	統 合 失 調 症 等	気 分 障 害	器質性 精神障害		中毒性 精神障害			神 経 症 性 障 害 等	パ ー ソ ナ リ テ ィ 障 害	知 的 障 害	て ん か ん	発 達 障 害	そ の 他 の 精 神 障 害	そ の 他
					認 知 症	そ の 他	ア ル コ ー ル	覚 醒 剤	そ の 他							
					F0		F1									
					F00 ～ F03	F04 ～ F09	F10	F15								
令和2年度		18	18	1	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0
令和3年度		14	9	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和4年度		7	3	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
診察 実施	要 措 置	7	3	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	不要措置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- ※1 緊急措置診察を実施した結果、措置不要となった者 0名
- 2 緊急措置入院中に措置解除となった者 0名
- 3 その他には病名不詳を含む。
- 4 F0～F9、G40 は、世界保健機関（WHO）の国際疾病分類（ICD カテゴリー）の分類。

表9－（2）－ウ 管内病院における入院期間別措置入院患者数（令和5年3月31日現在）

(単位：人)

入院期間 年度	総数	6か月未満	6か月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
令和2年度	2	1	1	0	0
令和3年度	1	1	0	0	0
令和4年度	5	4	0	1	0

表9－（2）－エ 申請・通報・届出関係の相談等（令和5年3月31日現在）

(単位：人)

性・年齢 区 分	実数	性別			年齢					延 回 数
		男	女	不明	20歳 未満	20歳 ～ 39歳	40歳 ～ 64歳	65歳 以上	不明	
相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	12	10	2	0	0	3	7	2	0	53
電話	27	20	7	0	1	7	14	4	1	252

(3) 医療保護入院のための移送（法第34条）

指定医の診察の結果、精神障害者であり、かつ直ちに入院させなければその者の医療及び保護を図る上で、著しく支障が認められるものの、本人の治療同意が得られない場合、その家族等のいずれかの者の同意がある時は、医療保護入院させるために知事の権限で応急指定病院に移送することができる。

表9－（3）医療保護入院のための移送処理状況

（単位：件）

年 度 \ 区 分	受付件数	指定医の診察件数	移送件数
令和2年度	0	0	0
令和3年度	0	0	0
令和4年度	0	0	0

(4) 精神保健福祉相談・訪問指導実施状況

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第47条の規定により、精神保健福祉相談員等又は医師によって、精神障害者及び家族等からの相談に対し相談・訪問・電話等に対応している。

表9－（4）－ア 精神科医師による定例相談

実 施 日	時 間	場 所
毎月 第1水曜日	14：30～16：30	保健所（健康福祉センター）
毎月 第2・4水曜日	14：00～16：00	保健所（健康福祉センター）

表9－(4)－イ 対象者の性・年齢

(単位：人)

性・年齢 区分	実数	性別			年齢					延回数
		男	女	不明	20歳未満	20歳～39歳	40歳～64歳	65歳以上	不明	
令和2年度	93	53	40	0	6	28	45	14	0	276
令和3年度	77	47	30	0	2	26	36	12	1	244
令和4年度	79	44	35	0	2	22	38	13	4	440
東金市	27	16	11	0	0	6	14	6	1	139
山武市	13	7	6	0	0	5	6	2	0	110
大網白里市	8	4	4	0	0	2	3	2	1	39
九十九里町	10	7	3	0	0	3	6	1	0	64
芝山町	2	2	0	0	0	0	2	0	0	18
横芝光町	4	3	1	0	1	2	0	1	0	19
管外・不明	15	5	10	0	1	4	7	1	2	51
相談	44	21	23	0	2	13	18	7	4	79
訪問	35	23	12	0	0	9	20	6	0	361

※1 同一人により相談を3回・訪問を2回した場合、相談実数1、訪問実数1、計2となり、延回数は5回となる。

2 電話相談は計上していない。

表9－(4)－ウ 電話・メール相談延件数

(単位：件)

性 区分	性			
	計	男性	女性	不明
電話	939	542	384	13
メール	4	2	2	0

表9－(4)－エ 相談の種別 (延数) (単位：件)

区分	病名	総数	精神障害に関する相談				中毒性精神障害に関する相談			ギャンブルの相談	摂食障害の相談	心の健康相談	思春期の相談	老年期の相談	てんかん	その他の相談
			診察に 関すること	社会復帰等	生活支援	その他の相談	アルコール	覚醒剤	その他の中毒							
	令和2年度	276	29	3	24	119	2	0	18	0	0	1	43	35	0	2
	令和3年度	244	56	0	34	146	0	0	0	0	0	1	0	3	0	1
	令和4年度	440	280	1	48	59	5	10	4	3	0	3	2	16	0	9
相談	計	79	27	1	6	24	1	0	4	3	0	3	2	4	0	4
	男	33	15	1	3	5	1	0	0	0	0	0	2	2	0	4
	女	46	12	0	3	19	0	0	4	3	0	3	0	2	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪問	計	361	253	0	42	35	4	10	0	0	0	0	0	12	0	5
	男	245	150	0	42	31	0	10	0	0	0	0	0	12	0	0
	女	116	103	0	0	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表9－(4)－オ 援助の内容 (延数) (単位：件)

種別 年度	総数	医学的指導	受療援助	生活指導 生活支援	社会復帰援助	紹介・連絡	関係機関調整 方針協議	その他
令和2年度	320	15	17	8	5	14	199	62
令和3年度	261	8	24	18	8	4	104	95
令和4年度	600	18	88	38	30	118	151	157

(注) 援助内容は重複あり

表9－(4)－カ 精神障害者の退院後支援相談対応件数 (単位：件)

	支援計画対象者	支援計画に基づく支援者		
		本人同意あり	会議開催数	計画に基づく支援者
合計	2	0	0	0
東金市	0	0	0	0
山武市	1	0	0	0
大網白里市	0	0	0	0
九十九里町	1	0	0	0
芝山町	0	0	0	0
横芝光町	0	0	0	0

(5) 精神障害者社会復帰関係

平成2年度から実施してきたデイケアクラブは、デイケア施設や地域活動支援センター等の社会資源が増加したことに鑑み、平成27年度で終了した。平成28年度からはデイケアクラブOBのフォローアップの機会と当事者同士の交流、お互いの支えあい(ピアサポート)の場としてピアサポート交流会を開催してきたが、令和元年度からは地域包括ケアシステム構築推進事業(委託事業)の実務者会議で実施されており当所も参画支援を行っている。

(6) 地域精神保健福祉関係

地域における精神障害についての正しい知識の普及等を目的に、家族会と共催で研修会を行っている。また、自助グループ(家族会、当事者グループ等)の育成及び活動支援を行っている。

精神障害の有無や程度にかかわらず誰もが安心して自分らしく暮らすことができる地域づくりを進めるため、保健・医療及び福祉関係者による協議の場として、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に係る取組推進のための代表者会議を地域生活支援センターゆりの木と共に開催している。

表9-(6)-ア 会議・講演会等

会議・講演会等の名称	開催日	参加人数(人)	対象者等
令和4年度山武圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築会議(代表者会議)	令和5年 2月14日	23人	精神保健福祉関係機関、市町、保健所等

表9-(6)-イ 家族教室・断酒教室・ボランティア講座・心の健康市民講座等

教室・講座等の名称	開催日	受講者数	内容
山武郡市精神障害者家族会のぞみ会研修会	令和4年 12月21日	36名	「精神障害がある人のかかえる家族の考え方と対処の仕方～36年間の追体験を通して～」 講師：日本福祉大学福祉経営学部 教授 青木 聖久氏
	令和5年 3月15日	46名	「精神障害がある人を抱える家族の考え方と対処の仕方(幻聴、妄想、脅迫等の対応)」 講師：SSTリーダー 高森 信子氏

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、対象者を限定して開催した。

表9-(6)-ウ 組織育成・運営支援 (単位：件)

種別 区分	当事者支援	家族会支援	支援者支援	その他
支援延件数	30	11	10	0

(7) 心神喪失者等医療観察法関係

「心神喪失者等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の対象者に対し、医療機関・地域が連携して一体的なケアを提供するため、医療機関や保護観察所主催の処遇検討会議に参加し、地域において訪問等の支援を実施している。

表9－(7) 医療観察法に係る会議への参加 (単位：件)

会議種別	CPA会議	ケア会議	その他
参加回数	4	4	0

- ・平成17年から医療観察法が施行されたことに伴い、保健所（健康福祉センター）においても各種会議への参加等が求められている。
- ・「その他」は、CPA 会議(Care Programme Approach の略)とケア会議以外の会議に参加した者を計上している。

10 肝炎治療特別促進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の治癒を目的として、平成20年度からインターフェロン治療、平成22年度から核酸アナログ製剤治療の医療費助成制度が開始され、窓口相談・申請手続業務を行っている。平成26年度にはインターフェロンフリー治療が助成対象となり、助成対象薬剤が拡充されたことに伴い、対象者が増加している状況である。なお、平成23年度から開始されたインターフェロン3剤併用療法については、プロテアーゼ阻害剤販売中止により令和3年10月に廃止された。

表10-(1) 肝炎治療特別促進事業受給者状況 (単位：人)

年度・市町	治療 核酸アナログ 製剤	インターフェロン	インターフェロン フリー
令和2年度	102	0	50
令和3年度	102	0	35
令和4年度	109	0	31
東金市	35	0	10
山武市	20	0	13
大網白里市	32	0	2
九十九里町	10	0	3
芝山町	2	0	0
横芝光町	10	0	3

11 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

B型・C型ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の医療費の負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的として平成30年12月から助成が開始され、窓口相談・申請手続業務を行っているが、現在のところ当センターでの取り扱いはない。

表11-(1) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業参加者状況 (単位：人)

年度・市町村	治療 肝がん	重度肝硬変	総数
令和2年	0	0	0
令和3年	0	0	0
令和4年	0	0	0
東金市	0	0	0
山武市	0	0	0
大網白里市	0	0	0
九十九里町	0	0	0
芝山町	0	0	0
横芝光町	0	0	0

12 難病対策事業

原因不明であって、治療方法が確立されていないため、長期にわたる療養が必要となり、高額な医療費の負担が必要となる難病に対し、医療費の自己負担分を助成している。対象は、法制化前の56疾患（特定疾患）から法制化後に徐々に拡大し、338疾患（指定難病）となっている。

また、これらの患者やその家族が抱える医療や療養生活に関する問題等に対し、専門職による相談、保健師等による訪問指導や窓口相談を実施した。

表12-（1）特定疾患治療研究費受給者状況

（単位：件）

年度・市町村別 疾患名	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	東 金 市	山 武 市	大 網 白 里 市	九 十 九 里 町	芝 山 町	横 芝 光 町
総 数	1	1	1	1	0	0	0	0	0
スモン	1	1	1	1	0	0	0	0	0

※0の疾患は省略

表 1 2 - (2) 指定難病医療費助成制度受給者状況

(単位：件)

年度・市町別 疾患名 下段：重症(内数)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	東 金 市	山 武 市	大 網 白 里 市	九 十九 里 町	芝 山 町	横 芝 光 町
総数	1,536	1,485	1,513	425	391	341	102	61	193
0010 球脊髄性筋萎縮症	1	1	1	0	0	0	0	0	1
0020 筋萎縮性側索硬化症	14	14	15	5	0	5	3	2	0
0030 脊髄性筋萎縮症	1	1	1	0	1	0	0	0	0
0050 進行性核上性麻痺	12	15	15	2	4	5	1	1	2
0060 パーキンソン病	212	192	191	63	42	39	14	8	25
0070 大脳皮質基底核変性症	12	12	10	3	1	3	0	1	2
0080 ハンチントン病	2	0	0	0	0	0	0	0	0
0110 重症筋無力症	46	48	47	8	21	8	2	4	4
0130 多発性硬化症／視神経脊髄炎	22	30	31	10	9	5	1	1	5
0140 慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多発性運動ニューロパチー	2	1	1	0	0	0	1	0	0
0150 封入体筋炎	1	1	1	0	0	0	1	0	0
0160 クロウ・深瀬症候群	1	1	2	0	1	1	0	0	0
0170 多系統萎縮症	16	11	13	1	2	4	2	2	2
0180 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	40	39	35	9	7	10	1	1	7
0220 もやもや病	22	22	23	5	10	5	0	0	3
0260 HTLV-1関連脊髄症	1	1	1	0	1	0	0	0	0
0280 全身性アミロイドーシス	6	8	14	4	2	2	1	2	3
0300 遠位型ミオパチー	1	1	1	0	1	0	0	0	0
0340 神経線維腫症	10	10	9	4	2	1	0	0	2
0350 天疱瘡	5	6	6	1	2	1	1	0	1
0360 表皮水疱症	1	1	1	0	1	0	0	0	0
0370 膿疱性乾癬(汎発型)	4	5	5	4	1	0	0	0	0
0400 高安動脈炎	8	8	8	2	2	2	0	0	2
0410 巨細胞性動脈炎	4	6	6	3	2	0	0	1	0
0420 結節性多発動脈炎	3	2	1	0	0	1	0	0	0
0430 顕微鏡的多発血管炎	26	28	25	7	8	7	0	1	2
0440 多発血管炎性肉芽腫症	5	2	4	1	0	1	2	0	0
0450 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	11	10	15	2	5	2	2	1	3
0460 悪性関節リウマチ	18	14	15	4	4	3	2	1	1
0470 バージャー病	2	2	2	1	1	0	0	0	0
0480 原発性抗リン脂質抗体症候群	1	1	2	0	1	0	0	0	1

年度・市町別 疾患名 下段:重症(内数)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	東 金 市	山 武 市	大 網 白 里 市	九 十九 里 町	芝 山 町	横 芝 光 町
0490 全身性エリテマトーデス	124	124	125	46	24	31	6	10	8
0500 皮膚筋炎／多発性筋炎	40	35	37	8	13	8	3	0	5
0510 全身性強皮症	45	42	46	18	9	11	1	3	4
0520 混合性結合組織病	17	20	20	6	7	5	0	0	2
0530 シェーグレン症候群	13	17	23	9	4	2	2	1	5
0540 成人スチル病	3	1	1	0	0	1	0	0	0
0550 再発性多発軟骨炎	1	2	2	0	0	2	0	0	0
0560 ベーチェット病	37	38	35	10	5	10	3	0	7
0570 特発性拡張型心筋症	25	25	25	4	7	5	3	2	4
0580 肥大型心筋症	5	5	6	0	2	2	1	0	1
0590 拘束型心筋症	1	0	0	0	0	0	0	0	0
0600 再生不良性貧血	15	11	14	3	5	2	1	0	3
0610 自己免疫性溶血性貧血	1	2	2	1	0	1	0	0	0
0620 発作性夜間ヘモグロビン尿症	2	2	2	2	0	0	0	0	0
0630 特発性血小板減少性紫斑病	32	26	21	2	9	5	2	1	2
0650 原発性免疫不全症候群	2	1	0	0	0	0	0	0	0
0660 IgA腎症	11	20	18	6	6	6	0	0	0
0670 多発性嚢胞腎	8	10	10	2	3	2	1	0	2
0680 黄色靱帯骨化症	6	5	5	1	3	0	0	1	0
0690 後縦靱帯骨化症	65	55	59	16	14	13	7	1	8
0700 広範脊柱管狭窄症	3	4	2	0	0	0	0	1	1
0710 特発性大腿骨頭壊死症	26	23	24	5	8	7	2	0	2
0720 下垂体性ADH分泌異常症	2	2	2	2	0	0	0	0	0
0730 下垂体性TSH分泌亢進症	1	1	1	1	0	0	0	0	0
0740 下垂体性PRL分泌亢進症	3	3	3	0	1	2	0	0	0
0750 クッシング病	4	4	4	2	1	1	0	0	0
0770 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	7	9	9	0	2	5	2	0	0
0780 下垂体前葉機能低下症	18	17	18	5	3	4	3	1	2
0790 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0	1	1	0	0	0	1	0	0
0840 サルコイドーシス	39	38	34	11	10	8	0	0	5
0850 特発性間質性肺炎	37	34	40	8	11	8	1	2	10
0860 肺動脈性肺高血圧症	3	3	1	0	1	0	0	0	0

年度・市町別 疾患名 下段:重症(内数)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	東 金 市	山 武 市	大 網 白 里 市	九 十 九 里 町	芝 山 町	横 芝 光 町
0880 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6	8	9	0	1	4	0	1	3
0890 リンパ脈管筋腫症	2	2	2	1	0	0	1	0	0
0900 網膜色素変性症	45	38	37	12	12	5	2	0	6
0910 バッド・キアリ症候群	0	0	1	0	0	0	0	0	1
0930 原発性胆汁性胆管炎	23	20	19	7	5	4	1	1	1
0940 原発性硬化性胆管炎	1	2	1	1	0	0	0	0	0
0950 自己免疫性肝炎	14	11	13	4	4	2	0	1	2
0960 クローン病	51	52	54	15	16	9	5	3	6
0970 潰瘍性大腸炎	207	196	193	50	50	53	16	4	20
0980 好酸球性消化管疾患	0	0	1	0	0	0	0	0	1
1130 筋ジストロフィー	4	4	4	1	1	2	0	0	0
1170 脊髄空洞症	3	2	1	0	1	0	0	0	0
1180 脊髄髄膜瘤	1	1	1	1	0	0	0	0	0
1270 前頭側頭葉変性症	4	2	0	0	0	0	0	0	0
1380 神経細胞移動異常症	1	0	0	0	0	0	0	0	0
1450 ウエスト症候群	1	2	2	1	1	0	0	0	0
1580 結節性硬化症	1	1	0	0	0	0	0	0	0
1620 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	4	2	4	1	1	1	0	0	1
1670 マルフアン症候群	5	5	5	1	3	0	1	0	0
1710 ウィルソン病	1	1	1	0	1	0	0	0	0
1910 ウェルナー症候群	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2100 単心室症	2	2	2	1	1	0	0	0	0
2120 三尖弁閉鎖症	1	1	1	0	0	0	0	0	1
2150 ファロー四徴症	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2170 エプスタイン病	0	1	1	1	0	0	0	0	0
2220 一次性ネフローゼ症候群	17	16	17	3	5	5	2	2	0
2230 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	1	0	0	0	0	0	0	0
2260 間質性膀胱炎(ハンナ型)	2	3	3	1	1	1	0	0	0
2270 オスラー病	1	1	1	0	0	1	0	0	0
2280 閉塞性細気管支炎	0	1	1	0	0	0	1	0	0
2300 肺胞低換気症候群	0	1	2	2	0	0	0	0	0
2350 副甲状腺機能低下症	1	1	1	1	0	0	0	0	0
2570 肝型糖原病	0	1	1	0	1	0	0	0	0
2710 強直性脊椎炎	6	6	9	3	1	1	0	0	4
2970 アラジール症候群	0	1	2	1	0	0	0	0	1
3000 IgG4関連疾患	2	2	3	3	0	0	0	0	0
3060 好酸球性副鼻腔炎	19	23	27	7	7	4	0	0	9
3310 特発性多中心性キャッスルマン病	2	2	3	0	0	3	0	0	0

(3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況

表 1 2 - (3) 先天性血液凝固因子障害治療研究費受給者状況 (単位：人)

年度	総数	東金市	大網白里市	山武市	九十九里町
令和 2 年度	9	3	2	3	1
令和 3 年度	8	3	2	2	1
令和 4 年度	8	3	2	2	1

(4) 難病相談事業

ア 在宅療養支援計画策定・評価事業

要支援難病患者に対し、きめ細やかな支援を行うため、在宅療養支援計画の策定・評価を行う。平成 28 年度以降実施は無く、ケアマネージャー等が主催する支援会議に出席している。

イ 訪問相談事業

(ア) 訪問相談員派遣事業

表 1 2 - (4) - イ - (ア) 訪問相談員派遣事業実施状況

年度 \ 区分	人数	回数	実人員	延人員
令和 2 年度	5	14	6	14
令和 3 年度	5	11	3	11
令和 4 年度	5	5	2	5

(イ) 訪問相談員育成事業

表 1 2 - (4) - イ - (イ) 訪問相談員育成事業実施状況

区分 年度	月 日	主 な 内 容	職 種	人数
令和 2 年度	6～8 月	指定難病医療費助成制度・難病相談事業について 事例検討 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため個別で講義 又は書面にて実施	保健師	5名
	2 月 22 日	講演「レスキューナースに学ぶ！風水害時の 防災対策について」 講師：国際災害レスキューナース 辻 直美氏 方法：オンライン、動画配信 ※印旛山武地域難病相談支援センター主催、 印旛保健所と共催	難病訪問相 談員・医療・ 保健・福祉・ 行政等関係 者	51名
令和 3 年度	6～8 月	指定難病医療費助成制度について 難病相談事業について 事例検討 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため個別で講義 又は書面にて実施	保健師	3名
	10 月 5 日	講演会 ※成田赤十字病院と共催 「摂食嚥下について」 摂食嚥下障害看護認定看護師 柴田恒子氏	介護支援専 門員、訪問 看護師、管 理栄養士	7名
	11 月 5 日	講演会（オンライン開催、動画配信） 「レスキューナースに学ぶ！地震時の防災対策につい て」 講師：国際災害レスキューナース 辻直美 氏	介護支援専 門員、事務 等	55名
	11 月 24 日	研修会 ※千葉ヘルス財団と共催 「山武地域におけるALS患者の支援」 ①「住み慣れた地域で『生きること』を支える～多職 種でつなぐ想い～」 講師：訪問看護ステーション杜の森 青木志津江氏 ②「人工呼吸器使用のALS患者の自宅への退院支援 ～担当ケアマネージャーとして関わったこと」 講師：居宅介護支援事業所おおあみの里 管理者 鶴岡正明氏 ③「保健所保健師のALS患者支援～必要な支援を導 きつなげる～」 講師：山武保健所 地域保健課 保健師	介護支援専 門員、病院 相談員、患 者会関係 者、作業療 法士、介護 職、管理者、 学生等	33名
令和 4 年度	6～8 月	指定難病医療費助成制度について 難病相談事業について 事例検討 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面実施	保健師 看護師 作業療法士	5名
	11 月 16 日	研修会 「スキンケア・排泄ケアについて」 講師：皮膚・排泄ケア認定看護師 大野 真由美氏 ※印旛山武地域難病相談支援センターと共催	病院、訪問 看護ステー ション、居 宅介護事業 所、訪問介 護事業所等 の関係者	15名

	12月21日	講演会（オンライン開催、動画配信） 「“難病患者就職サポーター”に聞く就労支援 自分らしく働こう」 講師：芦沢久恵 氏 ※印旛山武地域難病相談支援センター、印旛保健所と共催	難病患者及び家族、支援者等	当日30名 後日配信視聴総回数160回
--	--------	---	---------------	------------------------

ウ 医療相談事業

表12-(4)-ウ 医療相談事業実施状況

実施日	参加人数	実施会場	対象疾患	実施内容	従事者人数
7～9月 (計16回)	44	山武保健所	神経難病等及び相談を希望する者	専門職による個別相談	16

エ 訪問指導事業

表12-(4)-エ 訪問指導事業実施状況(疾患別) (単位：件)

疾患名	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総数	10	22	31
筋萎縮性側索硬化症	4	17	21
進行性核上性麻痺	0	2	1
パーキンソン病	2	0	5
多発性硬化症	1	1	3
多系統萎縮症	2	1	0
脊髄小脳変性症	1	0	0
筋ジストロフィー	0	1	1

オ 窓口相談事業

表 1 2 - (4) - オ 相談内容

(単位：人)

内 容	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
相 談 者 数 (延)	122	114	290
申 請 等	60	81	201
医 療	14	7	37
家 庭 看 護	25	17	29
福 祉 制 度	9	3	15
就 労	2	1	1
就 学	2	0	0
食 事 ・ 栄 養	0	0	1
歯 科	0	0	0
そ の 他	10	5	6

1 3 受動喫煙対策

健康増進法の改正により、令和元年7月1日に子どもや患者等が主な利用者となる施設は原則敷地内禁煙となり、令和2年4月1日から多くの人が利用する全ての施設において原則屋内禁煙となった。施設からの問合せや県民からの苦情等に基づく助言・指導等を行うとともに、普及啓発に努めた。なお、既存の講習会等の機会を通じて受動喫煙対策の普及啓発に努めた。

表 1 3 - (1) - ア 問合せ・苦情届出状況

区分 年度	件 数	内 訳				
		第一種 施設	第二種 施設	喫煙目的 施設	旅客運送 事業	規制対象外
令和2年度	45	1	44	0	0	0
令和3年度	17	4	13	0	0	0
令和4年度	3	1	1	0	0	1

表 1 3 - (1) - イ 立入検査状況

区分 年度	件 数	内 訳				
		第一種 施設	第二種 施設	喫煙目的 施設	旅客運送 事業	規制対象外
令和2年度	0	0	0	0	0	0
令和3年度	0	0	0	0	0	0
令和4年度	0	0	0	0	0	0

14 市町支援

管内市町が実施主体の地区組織育成、健康づくり推進協議会等については、新型コロナウイルス感染拡大防止措置により主に書面にて、広域的、専門的な立場から支援を行った。

また、技術的支援として、要保護児童対策地域協議会の実務担当者会議や個別支援会議、保健師連絡会に担当者等が参加し、実践的な市町支援を行った。

(1) 市町への支援状況

表 14 - (1) 市町への支援状況

項目 市町	会 議 ・ 連 絡				技術的支援		
	会 議 名	回 数	職 種	主 な テ ー マ	事業名	回数	職 種
東 金 市	東金市健康づくり推進協議会	1	医 1	・「とうがね健康プラン21（第2次）」の進捗状況	東金市要保護児童対策地域協議会実務者会議	6	保 7
	東金市食生活改善会定期総会（書面開催）	1	—	・令和3年度活動報告 ・令和4年度活動計画			
	東金市要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	福 課 1	・令和3年度活動報告 ・令和4年度活動計画			
山 武 市	山武市健康づくり推進協議会及び山武市自殺対策連絡協議会（対面及び書面による開催）	2	課 1 看 1	・山武市健康づくり計画第1次計画の評価及び第2次計画の策定	山武市要保護児童対策地域協議会実務者会議	1	福 課 1
	山武市要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	福 課 1	・令和3年度活動報告 ・令和4年度活動計画			
大 網 白 里 市	大網白里市食生活改善協議会（書面開催）	1	—	・令和3年度活動報告 ・令和4年度活動計画	大網白里市要保護児童対策地域協議会実務者会議	3	保 3
	大網白里市要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	福 課 1	・令和3年度活動報告 ・令和4年度活動計画			
九 十 九 里 町	九十九里町食生活改善協議会総会（書面開催）	1	—	・令和3年度事業報告 ・令和4年度事業計画	九十九里町要保護児童対策地域協議会個別支援会議	10	家 13
	九十九里町健康増進計画策定委員会	2	医 2	・住民アンケート、第2次九十九里町健康増進計画			
芝 山 町	芝山町健康増進計画策定委員会（対面及び書面による開催）	2	医 1	・しばやま元気プランの中間評価と見直し	芝山町要保護児童対策地域協議会実務者会議	2	家 2
	芝山町要保護児童対策地域協議会代表者会議	1	福 課 1	・令和3年度活動報告 ・令和4年度活動計画			

横 芝 光 町	横芝光町食生活改善普及会定例総会	1	医 1	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 3 年度事業報告 ・令和 4 年度事業計画 	横芝光町要 保護児童対 策地域協議 会実務者会 議	2	家 4
	横芝光町健康づくり推 進協議会（書面開催）	1	—	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 4 年度町保健事 業実施状況 ・令和 5 年度町保健事 業実施計画 	横芝光町要 保護児童対 策地域協議 会個別支援 会議	4	家 4
	横芝光町健康増進計画 及び自殺対策計画の中 間評価並びに改訂版に 係る策定委員会（対面 及び書面による開催）	3	医 2	<ul style="list-style-type: none"> ・横芝光町健康増進計 画及び自殺対策計画 の中間評価について 			

※職種：医（所長）、福課（地域福祉課長）、課（地域保健課長）保（保健師）、看（看護師）、精（精神保健福祉相談員）、家（家庭相談員）

※一部地域福祉課の支援についても掲載